



奈良県感染症情報

令和7年 第12週(3月17日～3月23日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	10.26	(11.53)	➡	➡	➡	⬆️⬆️
2	新型コロナウイルス感染症	2.95	(4.24)	⬇️	⬇️	⬇️	➡
3	RSウイルス感染症	1.59	(2.24)	⬇️	⬇️	⬇️	⬇️
4	インフルエンザ	1.33	(2.09)	⬇️	⬇️	⬇️	⬇️
5	A群溶連菌咽頭炎	0.59	(1.21)	⬇️	⬇️	⬇️	⬇️

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **⬆️⬆️**急増、**⬆️**増加、**➡**やや増加、**➡**横ばい、**⬇️**やや減少、**⬇️**減少

◆ 県内概況 ◆

奈良県内で今年2例目となる麻しん(はしか)患者が報告されました。麻しんは、麻しんウイルスを原因とする感染症で、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。麻しんは感染力が非常に強く、手洗いやマスクでは完全に予防することはできません。有効な予防方法は、2回のワクチン接種です。近年、海外からの輸入症例を契機とした国内における感染伝播事例が報告されており、2025年に入ってからすでに全国で32例(3月19日時点)報告されています。4月からは大阪・関西万博が開催され、国内外からも多くの来場者が見込まれるため、輸入症例や国内における感染伝播事例の発生に注意が必要です。

麻しんの感染を疑う場合は、必ず事前に医療機関へ電話等で連絡し、「麻しんかもしれない」ことを伝えたくえて、指示に従ってください。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

ヒトメタニューモウイルス感染症とRSウイルス感染症はまだ流行中。入院例もある。

COVID-19は流行ではないが常にある。インフルエンザは無かった。

溶連菌感染症、感染性胃腸炎は減少した。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザ、A型は見られなくなった。B型は散見されるが増加傾向は見られていない。

COVID-19は微増、両親から感染の3か月乳児などもあった。

経過は発熱のみの軽症経過。

嘔吐を主とするノロ様の感染性腸炎が流行中。

症状は嘔吐は強いが下痢等の経過は短期で輸液が必要な例も少ない。

手足口病、A群溶血性連鎖球菌、アデノウイルス例、が僅かに見られた。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザはほとんど発生しなくなった。COVID-19も散見されるが大きな流行になっていない。

熱・激しい咳嗽が遷延する例では、ヒトメタニューモウイルスが多数検出されている。またRSウイルス陽性例も多く、どちらも入院が必要となる場合がある。

他に肺炎球菌、ヒトライノウイルス、百日咳も検出されることもあり、鑑別が必要である。

ノロウイルス胃腸炎も保育所中心に流行、家族内伝播し流行が拡大している。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 7 年 第 12 週 3 月 17 日 ~ 3 月 23 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野			
インフルエンザ	55 (1.33)	14 (1.43)	14 (1.71)	11 (0.55)	10 (1.90)	6 (0.67)		
新型コロナウイルス感染症	162 (2.95)	28 (2.00)	32 (2.29)	29 (2.64)	39 (3.90)	34 (5.67)		
小児科定点数	34	9	9	7	6	3		
RSウイルス感染症	54 (1.59)	7 (0.78)	7 (0.78)	9 (1.29)	28 (4.67)	3 (1.00)		
咽頭結膜熱	10 (0.29)	2 (0.22)	1 (0.11)	3 (0.43)	2 (0.33)	2 (0.67)		
A群溶連菌咽頭炎	20 (0.59)	3 (0.33)	1 (0.11)	3 (0.43)	13 (2.17)			
感染性胃腸炎	349 (10.26)	70 (7.78)	91 (10.11)	74 (10.57)	81 (13.50)	33 (11.00)		
水痘	3 (0.09)	2 (0.22)	1 (0.11)					
手足口病	8 (0.24)		1 (0.11)	2 (0.29)	5 (0.83)			
伝染性紅斑	4 (0.12)	2 (0.22)	1 (0.11)		1 (0.17)			
突発性発しん	8 (0.24)	5 (0.56)	1 (0.11)	2 (0.29)				
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)						1 (0.33)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0		
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4 (0.40)	1 (0.33)		1 (0.50)	2 (1.00)			
基幹定点数	6	7	2	7	7	7		
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)		2 (1.00)					
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)				2 (2.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市2、中和1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(中和1)
5類感染症	後天性免疫不全症候群1件(奈良市1) 梅毒2件(奈良市1、中和1)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	1	新型コロナウイルス感染症	28
---------	---	--------------	----

❖ 第12週のトピックス ❖

麻しん(はしか)患者発生に伴う注意喚起(県疾病対策課HP)
<https://www.pref.nara.jp/item/320817.htm#itemid320817>

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男			1		1	2			5	5	3	15	5	1	2					1	41	2758	
	女									2	6	2	7	1	4	2	2	4	2			32	2721	
新型コロナウイルス感染症	男			3	2					3	1	2	8	1	5	8	13	5	7	5	10	73	1538	
	女			2	1				1	1			7	1	7	10	9	15	7	16	12	89	1691	
RSウイルス感染症	男	7	6	6	6	4	1															26	379	
	女	4	5	8	5	4	1				1											28	352	
咽頭結膜熱	男		1	2	1	1									1							6	51	
	女			2		1				1												4	33	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	2	4	3	1			1	1	1									14	220	
	女				1	1	1						2									6	200	
感染性胃腸炎	男	1	11	23	17	23	20	15	14	11	10	11	24	3	19							202	1664	
	女	1	3	16	18	12	9	9	10	15	5	7	17	2	23							147	1406	
水痘	男					1							2									3	28	
	女																					1	32	
手足口病	男				1	2	1	1		1	1											7	30	
	女			1																		1	16	
伝染性紅斑	男						2		1													3	47	
	女					1																1	45	
突発性発しん	男		2	2																		4	40	
	女		1	1	1	1																4	37	
ヘルパンギーナ	男																						1	1
	女																						1	1
流行性耳下腺炎	男										1											1	2	
	女																						2	2
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男						1									1						3	14	
	女																1					1	25	
細菌性髄膜炎	男																							5
	女																							1
無菌性髄膜炎	男																							1
	女																							1
マイコプラズマ肺炎	男																							17
	女			1	1																		2	19
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男				2																			5
	女																						2	7

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

